

名前（ ） 日づけ（ / ） できた数（ /21）

再読文字とは 一つの漢字を文中で二度読む字。一度目は返り点に関係なく上から副詞のように、二度目は返り点に従って下から動詞・助動詞のように読みます。

覚え方 「まさニ」と読む字が4つ（将・且・当・応）あり、ここが定期テストで最も狙われます。**読みが同じで意味がちがうのが** ねらい目です。

一次の書き下し文を読んで、後の問いに答えよ。

- ① 未（いま）だ嘗（かつ）て有らざるなり
② 花の落つること未だ多少を知らず
③ 吾（われ）将（まさ）に東（ひがし）して帰らんとす
④ 日且（まさ）に暮れんとす
⑤ 事当（まさ）に是（か）くのごとくなるべきなり
⑥ 罪人応（まさ）に罰せらるべし
⑦ 学者須（すべか）らく志を立つべし
⑧ 汝（なんぢ）宜（よろ）しく自ら勉むべし
⑨ 過ちて改めざるは、是れ猶（な）ほ過ち有るがごときなり
⑩ 民の仁に帰するは、猶ほ水の下に就（つ）くがごときなり
⑪ 子（し）盍（なん）ぞ之を言はざる
⑫ 君は由（な）ほ父のごときなり
- 語注 多少＝どれほど。 東す＝東へ行く。 仁に帰す＝仁徳のある君主のもとに集まる。 就く＝流れ下る。 子＝あなた（男子への敬称）。

A 読み(1～4) ※一度目と二度目に分けて

(1) ①の「未」の読みを、一度目と二度目に分けて答えよ

(2) ⑦の「須」の読みを、一度目と二度目に分けて答えよ

(3) ⑨の「猶」の読みを、一度目と二度目に分けて答えよ

(4) ⑪の「盍」の読みを、一度目と二度目に分けて答えよ

B 意味・はたらき(5～8)

(5) ③の「将」と⑤の「当」は、どちらも一度目を「まさ」を読む。意味のちがいを答えよ

(6) ⑥の「応」の表す意味を答えよ

(7) ⑧の「宜」の表す意味を答えよ

(8) ⑪の「盍」は、意味のうえでどのような言い方になるか

C 書き下し文 (9～12)

(9) ② 「未知多少」の部分を書き下し文に直せ

(10) ④ 「日且暮矣」を書き下し文に直せ

(11) ⑦ 「学者須立志也」を書き下し文に直せ

(12) ⑫ 「君由父也」を書き下し文に直せ

D 口語訳 (13～16)

(13) ③ 「吾(われ)将(まさ)に東(ひがし)して帰らんとす」

(14) ⑤ 「事当(まさ)に是(か)くのごとくなるべきなり」

(15) ⑨ 「過ちて改めざるは、是れ猶(な)ほ過ち有るがごときなり」

(16) ⑪ 「子(し)盍(なん)ぞ之を言はざる」

E 見分けと記述 (17～19)

(17) 再読文字とはどのような字か。読み方の手順にふれて四十字以内で書け。

(18) 書き下し文にするとき、再読文字の一度目と二度目は、それぞれどう書くか。

(19) ⑨と⑩は、どちらも「猶ほくごとし」の形である。この形は何を表すか。またその形を答えよ。

F まとめ (20～21)

(20) 再読文字を九つ、漢字で書け。

(21) 「まさニ」と読む再読文字を三つ挙げ、それぞれの意味を書け。

【テスト直前チェック】この三つ ①「まさニ」の4字＝将・且（これからの予定）／当（当然）／応（推量）。読みが同じで意味がちがうのが最頻出。②書き下しは一度目ひらがな・二度目送り仮名。二度目を漢字にしない。③猶／由は同じはたらき（比況）。「～ノ（ガ）ごとシ」で受ける。